

奈良公園基本戦略

平成24年 2月

奈良県まちづくり推進局奈良公園室

奈良公園の価値

- 奈良公園は国内外から年間1,000万人以上の来訪者が訪れる日本を代表する観光地であり、市街地に隣接した公園である。
- 奈良公園には世界遺産である「古都奈良の文化財」をはじめとして、数多くの資源が存在している。
- 奈良公園の価値とは、奈良公園の自然資源、歴史・文化資源、公園資源、及び各資源が融合した独特の風致景観である。

◆ 奈良公園の資源として次のようなものが存在する。

自然資源

自然環境を構成するもの

- ① 特別天然記念物：
春日山原始林（世界遺産）
- ② 天然記念物：
奈良のシカ、ルーミスジミ棲息地、春日大社ナギ樹林、
知足院ナラノヤエサクラ など
- ③ その他：
奈良公園周辺の眺望
若草山
片岡梅林
巨樹、名木（良弁杉、衣掛柳 など）
御蓋山（春日山）、手向山
吉城川、率川
松（日本の名松100選）、桜（日本さくら名所100選）、
杉、楓 など
参道（東大寺参道、春日大社参道）、堀 など

歴史・文化資源

歴史・文化的背景をもつ建造物、美術工芸品、遺構、行催事等

- ① 国宝（建造物）：
東大寺金堂（大仏殿）、興福寺五重塔、春日大社本社
正倉院正倉、新薬師寺本堂、元興寺極楽坊本堂 など 全19件
- ② 重要文化財（建造物）：
旧春日大社板倉（円窓亭）、旧帝国奈良博物館（なら仏像館）
旧奈良県物産陳列所（仏教美術資料研究センター） など 全28件
- ③ 国宝・重要文化財（美術・工芸品）：
銅造盧舎那仏（東大寺大仏）、
乾漆十大弟子立像（興福寺阿修羅像） など 全374件
- ④ 史跡、名勝：
史跡東大寺旧境内、史跡春日大社境内、史跡興福寺旧境内、
史跡鶯塚古墳 など 全11件
名勝奈良公園、名勝依水園、名勝旧大乗院庭園 全3件
- ⑤ 遺構：
東大寺講堂跡、東塔跡、西塔跡、興福寺金堂跡、南大門跡 など
- ⑥ 世界遺産：
東大寺、興福寺、春日大社
- ⑦ 伝統的行催事：
重要無形民俗文化財：春日若宮おん祭りの神事芸能 全1件
その他：東大寺二月堂修二会、采女祭、若草山焼き、
春日大社万燈籠、東大寺万灯供養会、
鹿の角切り、鹿寄せ、興福寺薪御能、芝能 など
- ⑧ 文化施設（展示・催しを含む）：
奈良国立博物館、寧楽美術館、奈良市写真美術館
春日大社宝物館、興福寺国宝館、東大寺総合文化センター など

公園資源

公園利用に資するもの

- ① 池：
猿沢池、鷺池、荒池、みどり池、三社池、東大寺鏡池、
大仏池、氷室神社鏡池
- ② 文化施設：
吉城園（主棟・庭園）、旧世尊院、旧志賀直哉邸、入江泰吉旧居
- ③ 園地：
登大路園地、春日野園地、浮雲園地、みどり池園地 など
- ④ 公園施設など：
浮見堂、五十二段
新公会堂（コンベンション施設、レストラン、庭園）、
シルクロード交流館（レストラン）、国際奈良学セミナーハウス
文化会館、美術館、県庁舎、鹿苑
公園内便益施設（四季亭、クィーンアリスなど） など
- ⑤ 行催事・イベント
なら燈花会、なら瑠璃絵 など
- ⑥ 休養施設：
トイレ、四阿、休憩所、ベンチ など
- ⑦ その他：
県庁屋上からの眺望
園路、公園内遊歩道、奈良奥山ドライブウェイ
観光案内所、観光案内版
ライトアップ施設、夜間照明
駐車場、公園内移動施設（ぐるっとバス）
古都買入地 など

■ 奈良公園の現状における課題

主に「維持」に関する課題

自然資源

- ナンキンハゼ等の外来種の侵入による春日山原始林の荒廃
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加や農産物の被害

- 奈良公園周辺における樹木の生長による眺望の阻害

歴史・文化資源

- 伝統的行催事の維持・継承

公園資源

- 鷺池、大仏池など景観を構成する池の土砂堆積・水質悪化
- 吉城園主棟、旧青少年会館など県有建築物の老朽化・低未利用

- 浮見堂、五十二段など公園施設の老朽化

主に「利活用」に関する課題

移動

- 自動車と歩行者の動線の交錯
- 移動手段の不足による高齢者等の移動困難

- 観光バスなどによる交通渋滞

にぎわい

- 観光オフシーズンにおける来訪者の減少
- 若草山の入場者数の減少
- 宿泊施設数の不足や宿泊稼働率の低迷

- 鹿苑の老朽化
- 古都買入地の低未利用

コンベンション

- 新公会堂の不十分なコンベンション機能

周遊環境

- トイレ、ベンチ等の不足、老朽化による周遊環境の不備
- 照明の不足による危険な夜間利用

- 県庁舎など観光交流拠点における魅力不足

満足度

- 公園内空き店舗の増加など来訪者へのサービス低下

情報

- 情報発信・情報提供の不足

- 統一した観光案内サインの不足

○ 奈良公園には資源が豊富にあるにも関わらず、資源の「維持」や「利活用」が不十分である。

○ 具体的には、自然資源では特別天然記念物「春日山原始林」の荒廃、歴史・文化資源では伝統的行催事の維持、公園資源では鹿苑の老朽化など様々な課題があり、このままでは奈良公園の価値が失われていくことが危惧される状況である。

奈良公園基本戦略の基本方針

目的

一人でも多くの方に奈良公園へ訪れてもらうため、奈良公園の抱える課題を解決し、奈良公園を名実ともに「世界に誇れる公園」にしていくことを目指すものとして、基本的な考え方や今後の方向性、重点的な取組を整理する。

基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維持

① 価値を守る

利活用

② 魅力を活かす

取組体制

③ 県が主体的に取り組む

○ 対象エリア

奈良公園周辺一帯(右図参照)

JR奈良駅から東側で、南は高畑町と奈良町を含み、北側は東大寺転轄門(正倉院西側)付近まで

○ 施策実施の基本スタンス

・本基本戦略で掲げる具体的な施策・事業は、各ゾーンの資源への影響について十分に検証を行い、できる限り影響を小さくして実施するものとする



■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

維持

(1)

◇ 自然資源の保存

◆ 天然記念物の維持・管理

1. 春日山原始林の再生

春日山原始林を荒廃から守り再生するため、(仮称)春日山原始林再生計画を策定し、特別天然記念物である春日山原始林の再生に努める。

2. 奈良のシカの適切な保護・育成

奈良公園に生息する天然記念物の「奈良のシカ」を適切に保護・育成する。

◆ 植生の維持・管理

3. 奈良公園の植栽計画の策定

樹木の生長による眺望の阻害等に対応するため、(仮称)奈良公園植栽計画を策定し、奈良公園周辺の植生を適切に維持・管理する。

◇ 歴史・文化資源の保存

◆ 行催事の維持・継承

4. 奈良公園の行催事への支援

古都奈良の早春を告げる伝統的行事である若草山焼きなど伝統的行事の維持・継承のため、奈良公園で実施される行催事等を支援する。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

維持

(2) ◇ 公園資源の保存

◆ 工作物・建築物の維持・管理

5. 吉城園主棟の改修

吉城園主棟及び周辺施設を改修し、奈良の文化に触れる品格の高い空間づくりを行う。

6. 公園施設等の適切な維持管理

公園施設の管理水準の維持・向上に努め、再訪したいと思わせる快適な環境づくりを行う。

◆ 植生植栽の維持・管理

7. 植生植栽の適切な維持管理

植生植栽などの管理水準の維持・向上に努め、再訪したいと思わせる快適な環境づくりを行う。

◆ 土地の買い入れによる資源への影響を抑制

8. 古都法に基づく土地の買い入れ

古都法第11条に基づく土地の買い入れを実施し、歴史的風土の保存に努め、資源への影響を抑制する。

◆ 建築や造成等における資源への影響を抑制

9. 文化財保護法、古都法等に基づく許認可

文化財保護法125条に基づく史跡名勝天然記念物の現状変更や古都法6条に基づく特別保存地区内の建築物の新築など各種法令による許認可により、資源への影響を抑制する。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

利活用

(1)

◇ 移動の円滑化 ①

◆ 安全・安心な歩行環境整備

10. 歩道の整備

徒歩で周遊する来訪者に対して、プロムナード化など歩道整備を行い、安全・安心な歩行環境を創出する。

11. 管理事務所の移転

園路への車両の乗り入れを抑制するため、管理事務所の移転を行い、歩行者の安全性を確保する。

◆ 移動支援機能の導入

12. 周遊バスの導入

広範囲の移動を円滑にするため、周遊バスを本格導入する。

13. 若草山などへの移動支援機能の導入

高齢者へのバリアフリー対策の一環として、多くの方に若草山からの眺望を楽しんでもらうための若草山への移動支援施設の整備など、公園内に移動支援機能を導入する。

◆ 公共交通機関の利用環境の向上

14. 登大路駐車場のバスターミナル化

県営登大路駐車場は、観光団体バスや周遊バスなどのバスターミナル化の検討を進め、公共交通機関の利用環境を向上させる。

15. 大仏前駐車場予約システムの活用

県営大仏前駐車場に導入した駐車場予約システムを活用し、利用者の需要を調整することにより、利便性を向上させる。

16. 行基広場屋根の整備

近鉄奈良駅前の行基広場に屋根を整備し、交通結節点の環境を改善する。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

利活用

(2)

◇ 移動の円滑化 ②

◆ マイカーの流入抑制

17. 公共交通の利用促進

観光交通による慢性的な渋滞の解消など来訪環境の向上に向けて、公共交通の利用を促進する。

18. パーク&バスライドの実施

観光交通による慢性的な渋滞の解消など来訪環境の向上に向けて、パーク&バスライドを実施し、公園内への流入を抑制する。

19. 公園内の流入抑制の推進

公園内道路の一方通行化など公園内への流入を抑制する。

◆ 動線を踏まえた適切な案内サイン整備

20. 案内サインの整備

広大な奈良公園を迷うことなく周遊するため、統一したわかりやすい案内サインの整備を進める。

21. デジタルサイネージの整備

リアルタイムに情報の発信ができるデジタルサイネージの整備を進める。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

利活用

(3)

◇ にぎわいづくり

◆ 多様な公園利用者をもてなす施設等の整備

2 2. 吉城園周辺地区の整備

吉城園主棟及び周辺施設を改修し、奈良の文化に触れる品格の高い空間づくりを行う。

2 3. 水辺空間の有効活用

水辺環境の改善や、ベンチなど休憩施設の充実により、水辺空間を有効に活用する。

◆ 観光資源であるシカの適切な保護・育成のための施設整備

2 4. 飛火野周辺地区の整備

老朽化が著しいシカの管理施設である鹿苑を改修し、観光資源として活用するとともに、周辺環境の改善等を行う。

◆ 立地環境にふさわしい低層の宿泊施設等の整備

2 5. 高畑町周辺地区の整備

奈良公園にふさわしい歴史と文化の香りが漂う上質の宿泊施設等の検討を行う。

◆ 既存イベントの内容充実・改善

2 6. 奈良公園のあかりを用いた誘客イベント等の継続実施

主催者と連携を図り、内容の充実や改善を行う。

◆ 新たなイベントの企画と実施

2 7. 奈良公園の魅力を活かしたイベントの企画・実施

奈良公園の魅力を活かした新たなイベントの企画と実施を行う。

◆ イベント支援機能を有する施設整備

2 8. イベント支援施設の整備

イベントを支援する施設を整備する。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

利活用

(4)

◇ コンベンションによる振興

◆ 魅力あるコンベンション機能の充実のための施設整備

29. 新公会堂周辺地区の整備

新公会堂とシルクロード交流館を一体化させて、国際会議場としての収容力を高めるなどコンベンション機能の充実、強化等を行う。

◇ 周遊環境の向上

◆ 来訪者に配慮したトイレの整備

30. トイレの整備

誰もが利用可能で清潔感あふれるトイレを整備し、周遊環境を向上させる。

◆ 夜間の安全性の向上

31. 照明施設の整備

来訪者の安全性の確保を図るため、照明施設の整備を行い、周遊環境を向上させる。

◆ 周遊を支援する休憩施設等の整備

32. 県庁舎周辺地区の整備

奈良公園へのゲートウェイとなる県庁舎等での飲食・物販機能などを強化させ、周遊環境を向上させる。

■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

利活用

◇ 来訪者の満足度の向上

(5)

◆ 旅行商品等の企画・実施

33. 社寺と連携した滞在型観光商品の企画・実施

社寺と連携した滞在型観光商品の企画・実施を行い、来訪者の満足度を向上させる。

◆ 魅力的なおみやげの企画・実施

34. 鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のおみやげ企画・実施

鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のおみやげの企画及び販売促進を行い、来訪者の満足度を向上させる。

◆ 便益施設の充実

35. 飲食・物販施設の使用許可の見直し

空き店舗や更地などが、にぎわいの低下にならないよう、飲食・物販施設の使用許可の見直しに取り組む。

◇ 情報発信と享受

◆ 奈良公園への来訪による魅力の享受と意識の向上

36. 修学旅行生の誘致

奈良公園への来訪により、奈良公園の魅力に触れてもらうため、修学旅行生を積極的に誘致する。

37. 奈良公園の解説の充実

奈良公園の解説の充実による魅力の享受と意識の向上に取り組む。

◆ 奈良公園の魅力の積極的な情報発信とその機会の増大

38. 情報発信・共有システムの構築

テレビやラジオなどのマスコミ、インターネット、雑誌など様々な媒体を活用した広報に積極的に取り組み、奈良公園の魅力をあますことなく全国に発信する。

39. 県外キャンペーンの実施

県外キャンペーンを実施し、奈良公園の魅力を全国に発信する。

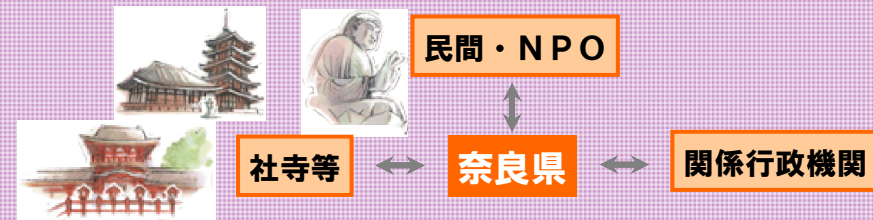
■ 基本方針の実現に向けた施策・事業

取組体制

◇ 関係者の総力の結集

40. 社寺、民間・NPO、関係行政機関との連携

奈良公園周辺の社寺や奈良公園に携わる民間、NPO、関係行政機関が一体となって施策を実施するため、関係者が連携し、総力を結集する。



トータルマネジメントによる総力の結集イメージ

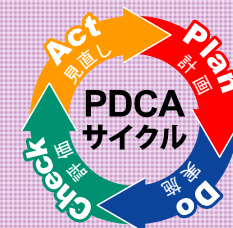
◇ 施策の推進

41. 県民や来訪者等への意見聴取

必要に応じてパブリックコメントや地元説明会、アンケート調査など県民や来訪者等への意見聴取を行う。

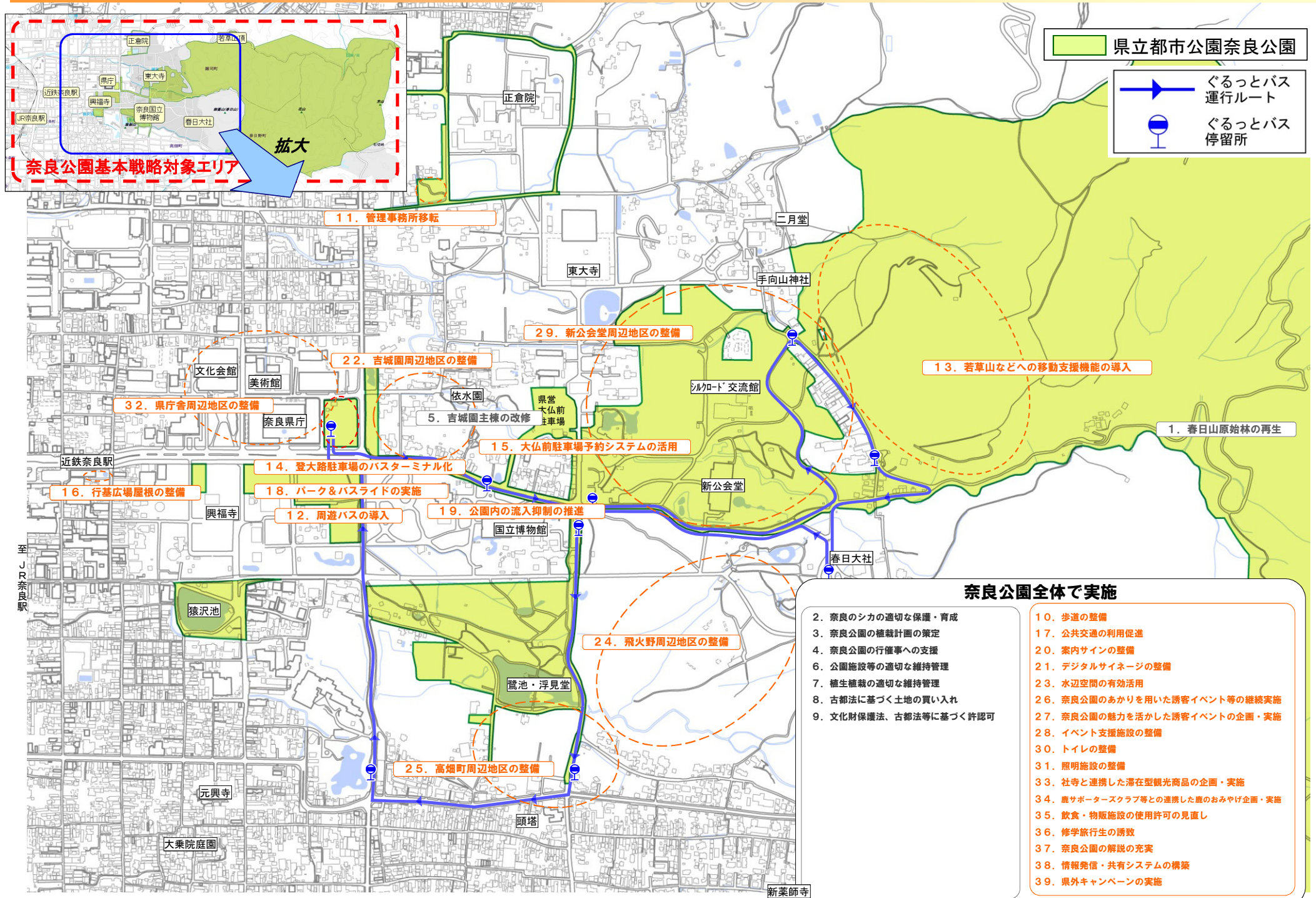
42. PDCAサイクルの確実な実施

PDCAサイクルを導入した施策のマネジメントが可能な仕組みづくりに取り組む。

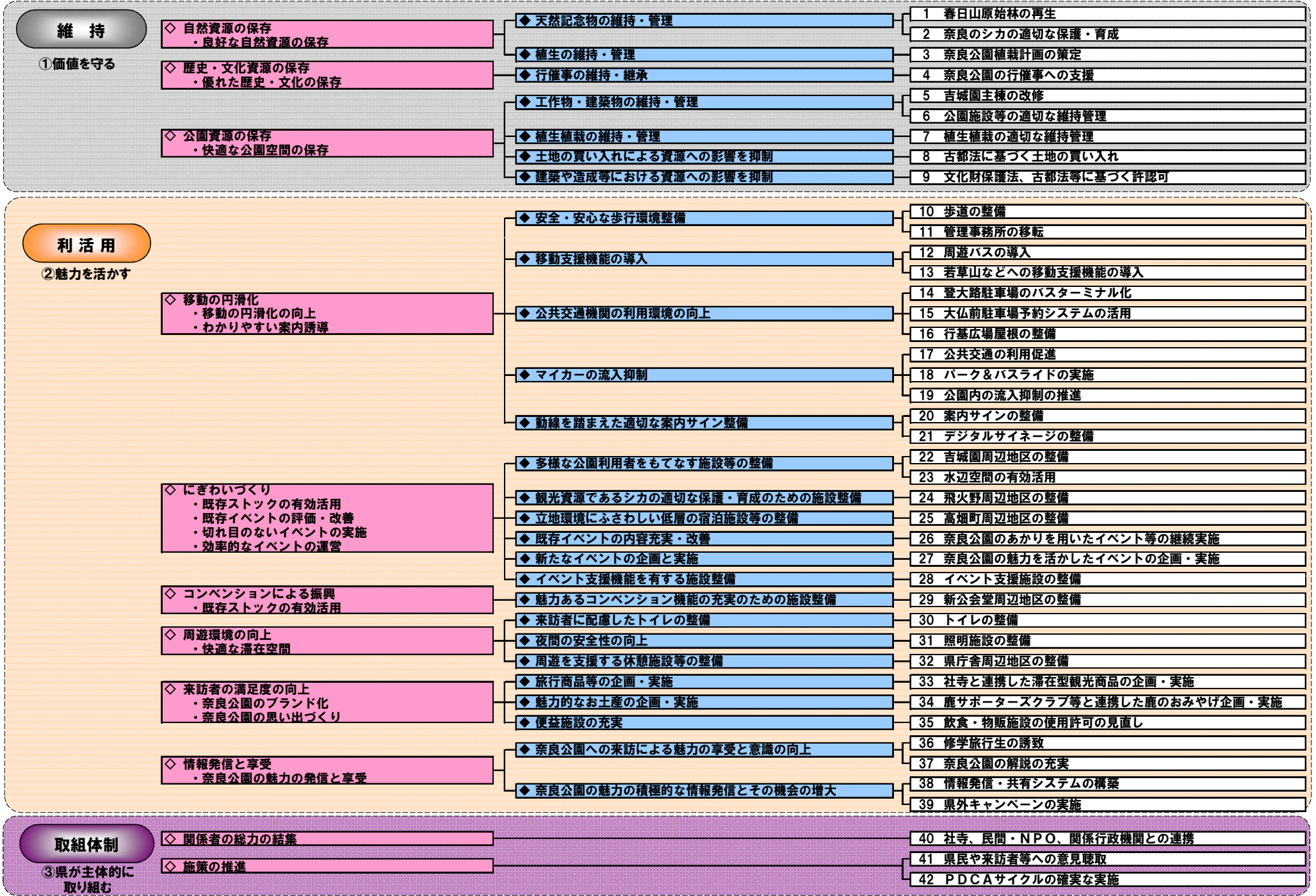


PDCAサイクルのイメージ

■ 施策・事業を実施する箇所(位置図)



奈良公園の施策・事業の体系図

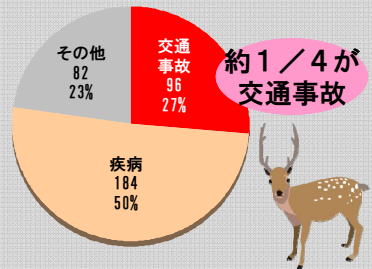


奈良公園の現状

- 春日山原始林への外来種の侵入
- 「奈良のシカ」の交通事故が多発
- 施設の老朽化が進行
- 低未利用地、未活用の建物が散在



写真：春日山原始林への外来種ナンキハゼの侵入



図：シカの死亡要因(H23)



写真：老朽化が進行する鹿苑の外周柵



写真：高畑裁判所跡地周辺の低未利用地



写真：有効活用されていない吉城園主棟

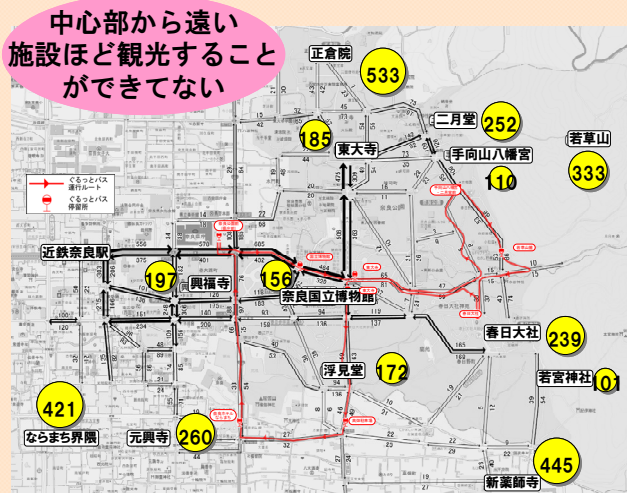
- 観光バスによる渋滞が発生、ベンチ等の施設の老朽化が進行
遠方施設を中心に十分に観光ができていない
- 夏・冬の観光客数が少なく、若草山への入山者は減少傾向
平城遷都効果で日帰り客数は伸びたものの、宿泊客数は伸び悩み



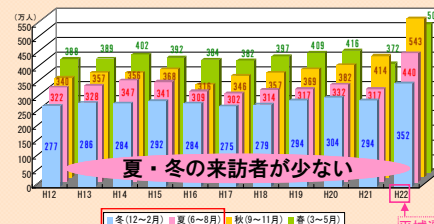
写真：園内の渋滞状況



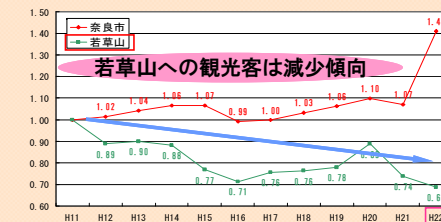
写真：ベンチの老朽化



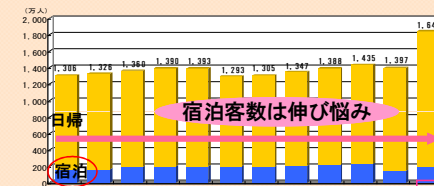
● 観たかったが観ることができなかった観光施設
出典：H20.7観光客へのアンケート調査(n=1,335)



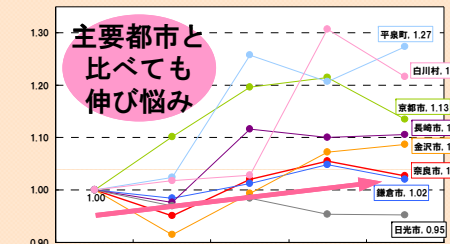
図：奈良市への観光客の推移(季節別)



図：奈良市及び若草山への観光客数の推移(H11を1.0とした場合の伸び)



図：奈良市への観光客数の推移(日帰・宿泊別)



図：主要観光都市の観光客の推移(H13を1.0とした場合の伸び)

● 不十分なコンベンション施設容量



写真：新公会堂でのコンベンション開催状況

多目的に利用できる
中小規模の会議室が不足

表：新公会堂と他の国際会議場の施設比較

諸室	新公会堂 (奈良市)	淡路舞舞台 国際会議場 (淡路市)	神戸国際 会議場 (神戸市)	北九州 国際会議場 (北九州市)
メインホール 収容人数	500人	600人	692人	585人
レセプション ホールの有無	○	○	○	×
イベントホール の有無	×	○	×	○
中規模会議室数 (100人以上)	2	3	7	3
小規模会議室数 (100人以上)	4	14	5	4

● 不十分な観光情報の発信

宿泊が期待できる
首都圏でメディア
露出が不足

図：各メディアでの奈良県の観光情報提供状況

